

謹賀

2007

新年

新年あけましておめでとう
ございます。年頭にあたり町
民各位のご健勝とご多幸を心
からお祈り申しあげます。

早いもので南部町が誕生し
て3年目となりました。この
間、町政において行き届かな
い点が多々あったと存じませ
うが、皆様には各般に亘ってご

スの行かない集落への変更も
生活交通対策検討委員会にご
相談しなければならぬと考
えているところです。

西伯病院も新しくなり、皆
様には気持ちよくご利用いた
だいでいることと思いますが、
少子高齢社会において病院に
寄せる期待は今まで以上に大
きいものがあります。私は今
後長きにわたって町民の皆様
の健康を支え、安心して暮ら
せる町づくりの中核施設とし
て発展していくものと期待し
ております。引き続きご愛顧
を賜りますようよろしくお願い
いたします。

CATV施設整備について
は町内全地域にケーブルの敷
設が完成し、長い間ご不便を
かけて来た難視聴も解消し、
快適なテレビライフをお過ご
しのことと思えます。本年は

協力を賜り誠に有難うござい
ました。お蔭様で合併の目玉
事業として掲げて参りました
重点事業が完了しましたので、
皆様には今後基盤整備された
これらの機能を暮らしの中に
活かして頂き、元気のよい南
部町の発展につなげていただ
きたいと願っております。

南部町チャンネルを活用して、
町内の様々な行事や町民の皆
様のご活躍の様子を紹介する
など、文字どおり住民の皆さ
んが主人公の町づくりに努め
て参ります。同時に中海テレ
ビ網を利用して他の市町村に
南部町を広く紹介しその存在
感を高めるとともに、他の市
町村の情報も共有することに
よって圏域全体の一体感の
醸成に努めて参りたいと思
います。

地域自治組織の創設につ
いては合併以来提唱し続けて参
りましたが、区長様をはじめ
関係者の皆様にご努力を
いただき、各地域で今春の設
立に向けて鋭意取り組んでい
ただいております。

現在、地方自治体は少子高
齢社会、地方分権、行政改
革、自立、財政危機・・・な

循環バスは路線バスとの重
複を出来るだけ避け、当初の
2台運行を限られたバス3台
フル運行に切り替え範囲の拡
大を実現し、新たに22集落の
皆さんにご利用いただくよう
に致しましたが如何でしょうか。
きつと喜んでいただいで

ど、かつて経験したことがな
い社会情勢の変化や新たな課
題への対応に大変苦慮してお
り、行政主導で町づくりを進
めて来た従来の手法の延長線
上に明るい未来が展望できな
い現状にあります。

平成12年の地方分権法の成
立によって、護送船団方式で
国がすべての自治体の面倒を
見ていた時代は終わり、地方
には自立が強く求められ、そ
れぞれの自治体は試行錯誤し
ながらも、自らの責任と判断
で未来を切り拓いて行かな
ければならなくなりました。

南部町は住民の皆さんとの
協働によって他所に誇れる元
気の良い町づくりを進めてい
こうと考えています。そのた
めの組織づくりであります。
近隣に余り例がないことや、
新しい取り組みということ
不安な気持ちをお持ちのお方
もたくさんあると思えます

いると思えますが、バスの行
かない集落の皆さんには一層
格差を感じられたのではない
かと心を痛めております。皆
様に多数ご利用いただかなか
れば存続は難しくなります。
利用の少ない路線については
思い切って見直しを行い、バ

が、今日的なさまざまな課題
を乗り越えて子供や孫に誇れ
る南部町を作っていくために
は、ぜひともご理解いただき
進めて行かなければならない
施策と考えています。20年、
30年の後に平成19年の選択が
良かった、正しかったと評価
をいただけるように先頭に立
って職員ともども頑張つて参
りますので、引き続きまして
ご協力をよろしくお願い申し
あげます。

終わりに町民各位のご健勝
とご多幸を重ねてお祈り申し
あげ年頭のご挨拶といたしま
す。

平成19年1月元旦

南部町長 坂本昭文

